

添付資料; 災害事例WGアンケート表 2008. 10. 15

対象工事 (トンネル、水力ダム、地下鉄、上下水道などのうちの)山岳トンネル工事
 対象期間 平成9年から平成19年
 対象事故 トンネル工事に関する事故のみ。通勤災害、もらい事故等は除く。
 記入方法 基本的に数値のみ。トンネル名、発生状況等のみ文章で記入

記入会社	
担当者	
担当者連絡先	
担当者メール	

事例No		
トンネル名		省略可
トンネル概要	構成	単独:1 JV:2
	目的	鉄道(新幹線):1 鉄道(その他):2 道路(高速):3 道路(一般):4 水路:5 その他:6
	標準断面	m2(数値記入)
	延長	m(数値記入)
	地質	土砂:1 軟岩:2 中硬岩:3 膨張性:4
	補助工法	事故に関係あればあれば記入
	ガス	事故に関係あればあれば記入
	湧水	事故に関係あればあれば記入
	掘削工法	在来:1 NATM:2 TBM:3
	掘削方式	機械:1 発破:2 機械発破併用:3
	ずり出し方法	レール:1 ダンプ:2 ベルコン:3
事故状況	年月日	20050315のように表示
	曜日	わかれば記入(月、火、水、木、金、土、日)
	時間	24時間表示で記入。
	事故発生箇所	切羽:1 坑内:2 坑口:3 坑外:4 その他:5
	工種	準備他:1 掘削:2 覆工:3 歩行中:4
	事故の型 (災害種類) 厚労省分類	原則として以下のうちから選択 墜落・転落:1 転倒:2 激突:3 飛来落下:4 崩壊倒壊:5 激突され:6 はさまれまきこまれ:7 爆発:14 その他:90
	事故の型 (災害種類) 建災防分類	わかれば以下より選択する。不明の場合は90 墜落:1 飛来落下:2 倒壊:3 土砂崩壊等:4 落盤等:5 クレーン等:6 自動車等:7 建設機械等:8 電気:9 爆発火災等:10 取り扱い運搬等:11 その他:80 不明: 90
	◎発生原因 人的原因、物的原因、管理的 原因よりそれぞれ1つを 選択する。複数選択は 不可。該当原因なしの場合 は空欄可。	◎人的原因 規則等の無視:1 状況判断の誤り:2 点検等の不足:3 知識技術の未熟:4 指導等の不徹底:5 他の不安定行動: 6
		◎物的原因 器具機械の欠陥:11 安全設備の欠陥:12 周辺配置 の不適:13 作業環境の欠陥:14 他の物的原因:15 不可抗力:21
		◎管理的原因 作業手順の不備:31 人員配置の不備:32 連絡調整の不備:33 その他:34
	被災者数	人
事故の程度	死亡:1 重大:2 休業1月:3 休業4日:4	
発生状況	120字以内で簡潔に説明。回数不足の場合は次欄使用	
予備欄	被災者、発生状況等での記事欄	
被災者①	年齢	発生時年齢
	職種	主任:1 坑夫:2 その他坑内作業員:3 その他:4
	協力会社	元請:1 一次:2 二次:3 三次以下:4
被災者②	年齢	発生時年齢
	職種	主任:1 坑夫:2 その他坑内作業員:3 その他:4
	協力会社	元請:1 一次:2 二次:3 三次以下:4
被災者③	年齢	発生時年齢
	職種	主任:1 坑夫:2 その他坑内作業員:3 その他:4
	協力会社	元請:1 一次:2 二次:3 三次以下:4
被災者④	年齢	発生時年齢
	職種	主任:1 坑夫:2 その他坑内作業員:3 その他:4
	協力会社	元請:1 一次:2 二次:3 三次以下:4